

★「アタマジラミ」の基礎知識★

◎アタマジラミとは



アタマジラミは、体長が2.5～3.5mm（成虫）で、灰白色または灰褐色の昆虫で、おもに髪の毛に寄生します。頭皮から血を吸って生きており、卵からかえってから10日ほどで成虫になります。成虫の寿命は約1ヶ月ですが、髪の毛から離れると、2～3日ほどで死ぬといわれます。

◎アタマジラミのうつるルート

アタマジラミは、不潔にしているから発生するのではなく、おもに頭と頭の接触によってうつります。したがって、うつる場所として考えられるのは、こどもたちが体や頭を寄せて遊ぶ幼稚園、保育園、小学校などの集団生活の場です。また、集団の場でうつり、家できょうだいにうつることもあります。プールでは、水中でうつることはほとんど考えられませんが、ロッカー、タオルの共用により、うつることが考えられます。タオル、くし、帽子の共用は禁止し熱湯処理(60℃で5分間)した後で洗濯し、アイロン仕上げが効果的です。

◎アタマジラミの症状

おもな症状はかゆみですが、寄生している数や個人差により、かゆみを強く感じるケースとほとんど感じないケースがあります。またアタマジラミが感染症などを媒介することはありません。ただ、かゆみが強いためにかき傷をつくった場合、その傷から細菌感染をおこすことがあります。

◎アタマジラミの見つけ方

成虫はよく動くため見つけにくいのですが、卵は見つけることができます。卵の色は乳白色で、後頭部、耳の後ろなどの髪の毛の生え際に多く産み付けられます。フケや皮脂のかたまりと間違えやすいのですが、卵や卵の殻は髪の毛にしっかりくっついて簡単には取れないのに比べ、フケや皮脂のかたまりは、毛先に向かって引くと簡単に取れます。



【卵は髪の毛に付着しています】

◎アタマジラミを見つけたら

アタマジラミ駆除用の医薬品(スミスリンシャンプー等)が薬局・薬店で売られているので、添付文書をよく読んで正しく使用しましょう。薬のほかには、「すきぐし」をつかって駆除する方法もあります。寝具や衣服などはよく日干しし、よくたたきましょう。家族の中にもいないかを調べましょう。早期発見・早期駆除が大切です。

見つけたときは驚いたりするかもしれませんが、むやみに騒いだり、不潔扱いをして子どもの気持ちを傷つけたり、保護者自身が自分を責めたりといったことのないよう、冷静に対応することが大切です。